

情 報 公 開 文 書

研究の名称	PAP 患者における眼瞼下垂手術前後の乱視成分の変化
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	眼科学 講師 柚木達也
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 プロスタグランジン (PG) 製剤使用に関連する眼瞼下垂 (prostaglandin-associated periorbitopathy : PAP) 患者において、富山大学附属病院で眼瞼下垂手術を行った 33 例 33 眼の乱視成分を測定し、後ろ向きに乱視成分の変化を調べます。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ~ 2027 年 3 月 31 日</p> <p>【研究対象者】 2019 年 6 月から 2025 年 6 月の期間に富山大学附属病院で眼瞼下垂手術を行った PAP 患者 33 例を対象とします。術後の経過観察を当院で行わなかった患者、眼瞼下垂術前に内眼手術（硝子体手術や緑内障手術）を受けた既往のある患者、術前と術後 3 か月に前眼部 OCT を施行しなかった患者は除外いたします。</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 研究資金は医局・講座費です。本研究に関する企業等は存在しないため、申告すべき利益相反はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 本研究に関する情報等は個人識別が可能な情報を削除し、個人とは無関係な研究用識別番号を付することで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工します。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p> <p>【外国にある者への提供について】 該当なし</p>
②利用又は提供する試料・情報の項目	カルテ調査であり、他機関への提供はありません。また、患者データは匿名化され、個人情報が切り離されています。
③利用又は提供を開始	実施許可日

【臨床疫学様式】情報公開文書（多機関・代表機関用）

2025年 12月 22日 第1.2版

する予定日	
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	該当なし
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 眼科学講師 柚木達也
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 病院長 山本善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いること（他の研究期間への提供も含む。）に対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。</p> <p>電話 眼科医局 076-434-7363 E-mail yunokiki@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 眼科学 講師 柚木達也</p>